

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年1月7日 No. 2

新署名著名人顔ポスター大好評

粉雪舞う中恒例の元旦署名行動 - 大分

大分県・市原水協は、恒例となっている新春署名行動を元旦の午前11時から1時間、初詣客で賑う大分市の春日神社入口で行いました。粉雪の舞う中での行動でしたが、不況の時には参拝客が増えるといわれているように、いつもの年より参拝客の出足は良かったようです。6団体から7人の参加でしたが、1時間で206筆の署名が寄せられました。

新しい「顔写真ポスター」の評判がよく、子供たちが「張本さんだ」と駆け寄って家族で署名したり、「ノーベル賞の益川さんも賛同しているんですね」

「核兵器をなくすことは大事なことです、寒い中ご苦労さんです」などと声をかけ、署名していきました。今年は若いカップルや家族連れの人たちがよく署名に応じていました。



雪の中願い込め署名 - 北海道

北海道原水協は6日昼、札幌市の中心街で今年初めての6・9行動を行いました。降りしきる雪について、核兵器廃絶の署名を呼びかけると、若者のグループや買い物に来た女性らが手袋を取り、パラパラと雪が落ちる署名用紙に名前を書き込んでいました。

2人連れの子供中学生(13)は「社会科の授業で原爆の恐ろしさを知りました。それ以来、核兵器はなくなってほしいと思っていました」とほおを赤くして署名しました。

倶知安町の男性(25)は「核兵器の存在は戦争につながるので一刻も早くなくさなければいけないと思います」とサイン。「自分にできるのはこれくらいですが、少しでも役に立ってくれば」と募金を託しました。

釧路原水協は1日、初詣でにぎわう厳島神社に隣接する公園前で26人が参加して恒例の核兵器廃絶元旦募金を行いました。気温は1度で、釧路としては例年になく快晴の元日でしたが、強風のため寒い中での行動となりました。釧路原水協は、再検討会議に向けた署名活動をさらに推進するため、市民に協力を訴えることにしています。

路上に並べた原爆写真パネルを見ていた小学生が署名 - 三重

三重県原水協と同中勢地区原水協は1月6日、津センターパレスで6・9行動を行いました。この行動には8人が参加し、昼休み30分の行動で59筆が集まりました。「寒い中ご苦労様」と声をかけて署名してくれるなど短時間の割にはいつもより多くの署名が集まりました。路上に並べた原爆写真パネルを見ていた小学生が署名してくれました。

また、鈴鹿市では鈴鹿ハンター前で署名・宣伝行動を行い、参加者6人、50分の行動で59筆が集まりました。

高校サッカー準決勝進出の高校生らも署名 - 埼玉

埼玉県原水協は6日正午から1時間、今年初めての6・9行動をJR浦和駅頭で行いました。雲ひとつない青空のもと、県原水協の吉野理事長、市瀬事務局長をはじめ16人が参加し、駅乗降客や通行人に呼びかけました。高校サッカー準決勝進出の茨城・鹿島学園の高校生らも署名してくれ、合計127筆の署名とカンパ690円が寄せられました。



2市で元旦行動と6・9行動 - 山口



山口、岩国両市では、元旦と6日に「核兵器のない世界を」署名行動に取り組みました。

山口では、元旦行動に7人が参加して大神宮前の参道で初詣客に署名を呼びかけました。あいにくの雪で署名板の上に積もった雪がとけ、署名用紙が濡れてボールペンが使えなくなるアクシデントもありましたが、1時間足らずで126筆の署名が集まりました。

6日はお昼12時から7人で1時間の行動。県原水協の下司事務局長も参加し、井筒屋前で6・9行動を行いました。年配の男性からは「原爆だけは許せない。誰かがこえをあげないといけない。こうした運動はきっと野火のように広がると思う。頑張ってください」とカンパも寄せられ、書名は68筆が集まりました。

岩国では、元旦行動に8人が参加して白崎八幡宮前で行動。「自宅が愛宕山。すぐ隣が宅地開発されて米軍住宅が来ると不安。なんとしても反対したい」と署名される方もおり、119筆が寄せられました。

6日は午後から岩国駅前でも6人が参加して6・9行動。高岡事務局長がマイクで訴えると、いい雰囲気です。72筆の署名が集まりました。

日本原水協ホームページからオンライン署名も

いつでもどこでも誰でもとりくめるオンライン署名 (<http://www.antiatom.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=2010J>)も少しずつ寄せられてきています。いくつかメッセージを紹介します。

- ・ もっと若者が国民が戦争反対、核兵器反対の意思を示すべきだと思っています。二度と悲劇を繰り返さないように、大切な人を守るために、核兵器のない平和な世界を望みます。(新潟・10代女性)
- ・ 今から20年以上前、長崎の原爆資料館に修学旅行で訪れたり、学校の図書館で漫画「はだしのゲン」を読んだりと非常に多感な時期を原爆の怖さを感じながら過ごしました。子どもや孫の世代もそうなのでしょうか？一部の利権の為に核兵器という重圧が人々を虐げていく事がこれ以上続くことが悲しくてなりません。少しでも核兵器廃絶、そして戦争を起こさない世界に繋がるよう署名に託します。(東京・30代男性)
- ・ このような電子署名のあることを、これまでしりませんでした。大いに広めたいものです。(北海道・70代男性)

500筆を超える署名ハガキが全国から届く

「核兵器のない世界を」国際署名キャンペーンのカラーリーフについている署名ハガキが全国から日本原水協事務所に連日配達されています。1月7日現在、北海道、福島、東京、埼玉、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、愛知、岐阜、三重、石川、滋賀、京都、大阪、奈良、兵庫、岡山、鳥取、徳島、福岡、大分、宮崎の24都道府県から501筆分の署名ハガキが届いています。